



平成28年10月5日
国立研究開発法人 森林総合研究所関西支所

「平成28年度森林総合研究所関西支所公開講演会」開催のご案内

ポイント

- ・ **森林の長期観測で得られた研究成果を紹介します。**
- ・ **10月31日（月）13時30分から、龍谷大学響都ホール校友会館で開催します。**

森林の成立に長い時間が必要なことは誰にでも想像がつきます。深山幽谷の原生林はもちろん、人の手で植栽された人工林も、50年、100年という時間を経て神々しい木々に育ちます。しかし近年では、私たちの生活で数十年単位の気長な時間を意識することはまれになりました。とかく世知辛い世の中になり、その波は科学研究の現場にも押し寄せています。「とにかく速やかに成果を」「研究期間は3年まで」などと求められます。このようなご時世でも、私たちは長期間に渡る調査・観測は必須であるとの確信を持ち、研究を継続してきました。息の長い研究で初めて得られた知見も少なくありません。

講演会では3つの話題を提供します。一つめは、森と水との関係です。森は水を消費しますが、森がなければ洪水や渇水がより頻発するとも言われます。一例として、瀬戸内の森林で川の流れ方がどのように変わってきたかを紹介します。二つめは、100年を越える高齢人工林の成長過程を追跡します。以前は漠然と、高齢のスギ・ヒノキは成長が頭打ちになると考えられていましたが実際はどのようなのでしょうか。三つめは、土壌の話題です。スギやヒノキを植栽すると土壌の栄養分などはどう変化するのか、地面の下の化学変化を探ります。

貴社におかれましては、本講演会の開催について、紙面、番組等で広くご案内いただくとともに、当日、ご参加いただければ幸いです。

【日 時】2016年10月31日（月）13時30分～16時30分（開場13時00分）
【場 所】龍谷大学 響都ホール校友会館（JR 京都駅八条口前 アバンティビル 9F）
【テ ー マ】森林（もり）の時間（とき）を科学する ～森林の長期観測で得られた成果～
【プログラム】タイトルは仮題です。

1. 80年の観測でわかった森と水の関係

細田 育広（チーム長：森林水循環担当）

2. 高齢人工林の成長過程をたどる

田中 邦宏（森林資源管理研究グループ 主任研究員）

3. スギ林、ヒノキ林の土壌は20年でどう変わる？

谷川 東子（森林環境研究グループ 主任研究員）

問い合わせ先など

国立研究開発法人 森林総合研究所 関西支所長 吉永秀一郎

広 報 担 当 者：森林総合研究所関西支所 地域研究監 鳥居厚志

問い合わせ先：森林総合研究所関西支所 地域連携推進室長 伊藤 弘

Tel：075-611-1201（代） Fax：075-611-1207

本資料は、京都府記者クラブに配布しています。



平成28年度 森林総合研究所 関西支所 公開講演会

も り と き

森林の時間を科学する

～ 森林の長期観測で得られた成果～

とにかく世知辛い世の中で、科学研究現場でも「速やかに成果を」「最長でも3年」などと求められます。しかし森林は長年月かけて成長するもの。長期観測で初めて得られた知見も多いのです。幾つかご紹介しましょう。

2016年10月31日（月）
13時30分～16時30分（開場13時00分）
龍谷大学 響都ホール校友会館
JR京都駅八条口前 アバンティビル9階

参加無料
事前申込者優先

問い合わせ、会場へのアクセス、申し込み先は裏面をご覧ください

講演（タイトルは仮題です）

80年の観測でわかった森と水の関係（細田育広）

高齢人工林の成長過程をたどる （田中邦宏）

スギ林、ヒノキ林の土壌は

20年でどう変わる？ （谷川東子）

主催：国立研究開発法人
森林総合研究所 関西支所

会場へのアクセス



〒601-8003
京都府京都市南区東九条
西山王町31
アバンティ9階

龍谷大学 響都ホール校友会館

問い合わせ・申し込み先

〒612-0855

京都市伏見区桃山町永井久太郎68 森林総合研究所関西支所 地域連携推進室

電話: 075-366-9911・9902 ファックス: 075-611-1207

Eメール: fsm-ren@ffpri.affrc.go.jp

電話・ファックス・Eメールいずれかの方法で申し込みください。その際に下記項目をお知らせください。

申し込み期限: 10月26日(水)

当日参加も可能ですが、できるだけ事前にお申し込みください。

所属(会社または機関名)	
氏 名	
連絡先(電話番号・Eメール)	

頂いた個人情報はこの講演会の受付業務以外には使用しません

当日、講演中の写真・動画撮影や録音はご遠慮下さい